

メダン総領事館・海外安全対策情報（2016年1月～3月）

1 テロ情勢

本年1月14日、ジャカルタ中心部にあるサリナ・デパート付近で、「I S I Lインドネシア」を名乗るグループが銃器・爆弾を使用しテロを実行し、実行犯4人、外国人等4人が死亡、20人以上が負傷した。インドネシア国家警察は、この事件に関し、国内各地で関係者を逮捕しており、引き続き捜査が継続されている。

現在、当地において日本権益や日本人を狙ったテロの具体的脅威情報には接していない。しかし、インドネシア国内にはI S I L支持者等のイスラム過激派が存在しており、また、これまでインドネシアから数百名がI S I Lの支配地域へ渡航し、その一部が既に国内に戻っていると報じられている。

昨今、世界的にテロ情勢は流動的となっているため、日頃から危機意識を持ち、外出時は周囲の状況に対する警戒を怠らないことが必要。

2 治安情勢

依然としてメダン市及び近郊では、バイク使用による路上強盗、侵入強盗、薬物事案等の凶悪犯罪が多く発生しており、治安は悪い状態にある。特にバイク、三輪タクシー、徒歩での移動はひたたくりや路上強盗等の被害に遭う可能性が高くなるため、可能な限り比較的安全な車での移動を心掛けるなどの注意が必要。また、通常、犯罪者は凶器を持っているため、犯罪被害に遭った際は好戦的な態度は避け、身の安全を最優先した対応が求められる。

3 犯罪手口の紹介

(1) バイクを使用したひたたくりや路上強盗

バイク2人乗りによる犯行が多く、場所や時間帯を問わずメダン市内各地で発生している。被害者が不注意となっている隙を狙ったものや、被害者の死角となる方向から犯行に及ぶケースが多い。また、被害の際に犯人に強引に引き倒されるなどして死傷することもある。

(2) パンク強盗

犯人がターゲットとする車両の駐車中、犯人が予めタイヤの前に釘等を置き、発車後にパンクするよう細工を施し、被害者が車を運転中、異変に気づき車外に出た隙を付け狙い、被害者自身や車中から金品を奪うもの。車に異変があった際は、犯人に狙われている可能性もあるため、路上での車両確認は厳に避け、ガソリンスタンドやスーパーの駐車場等、人のいる安全なところまで移動してから確認することが望ましい。

(3) 車上ねらい

車中から貴重品を盗み出す手口。車には必ず鍵をかける、車中に金目のものを放置しな

いことが必要。

(4) 侵入窃盗・強盗

犯人は通常、刃物等の武器を所持しており、被害の際、抵抗し危害を加えられ死傷するケースも散見される。防犯対策として、家には頑丈な構造を有する二重ドアを用いる、最後に逃げ込み、鍵を掛けることのできる部屋を設定する、平時より緊急事態発生時の連絡先を把握する、不特定多数に長期不在であることを悟られないようにする、訪問予定のない者を安易に家の中に入れないなどの措置を執ることが必要。また、時折、使用人の手引きによる犯罪や、使用者に対する私的な恨みに起因する犯罪も発生しているので、使用人の適正な管理や良好な人間関係を維持することが必要。

4. テロ・爆弾事件発生状況

関連事件は発生していない。

5. 誘拐・脅迫事件発生状況

関連情報はない。

6. 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られない。

7. 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報はない。

以上